



平成26年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成25年7月30日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 木曽路

コード番号 8160 URL <http://www.kisoji.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松原 秀樹

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 服部 昭仁

TEL 052-872-1811

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	10,398	0.2	190		160		155	
25年3月期第1四半期	10,374	4.0	506		475		362	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	6.02	
25年3月期第1四半期	14.05	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	38,070		29,333			77.1
25年3月期	39,467		29,702			75.3

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 29,333百万円 25年3月期 29,702百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		7.00		7.00	14.00
26年3月期					
26年3月期(予想)		7.00		7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	21,200	3.0	240		210		260		10.06
通期	47,000	3.5	2,000	33.7	2,070	26.4	1,000	35.3	38.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	25,913,889 株	25年3月期	25,913,889 株
期末自己株式数	26年3月期1Q	74,465 株	25年3月期	74,224 株
期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	25,839,495 株	25年3月期1Q	25,840,375 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	4
（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2．サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3．四半期財務諸表	5
（1）四半期貸借対照表	5
（2）四半期損益計算書	7
（3）四半期財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(第1四半期累計期間)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期当期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期期純利益 (円)
平成26年3月期	10,398	190	160	155	6.02
平成25年3月期	10,374	506	475	362	14.05
増減率(%)	0.2	-	-	-	-

当第1四半期累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)におけるわが国経済は、経済政策や金融緩和による円安、株価の上昇など景気回復期待の広がりがみられるものの、実体的な経済への波及は限定的であり先行きは依然不透明な状況で推移しました。

個人消費に関しましては、株価上昇による資産効果や景気回復への期待から高額商品の消費が堅調に推移する一方で、所得・雇用環境の改善が足踏みし本格的な回復には至らず、慎重な消費行動で推移しました。

外食業界におきましては、消費マインドの改善から一部に回復の兆しがみられるものの、円安による原材料価格の上昇や光熱費の値上りなど先行きは不透明感が残り、経営環境は依然厳しい状況で推移しました。

このような経営環境の中で当社は、1店舗の新規出店(新業態「ワイン食堂ウノ」)、1店舗の改築、1店舗の改装、1店舗の退店を実施し、その結果、当第1四半期会計期間末の店舗数は172店舗(改築中1店舗を含む)となりました。

営業面では、旬の料理の提供など料理・サービスの充実に努め、また、春の歓送迎会、GW、母の日や父の日などの季節的イベントを中心に販売促進活動を実施しましたが、前事業年度のポイント制度変更による反動もあり、売上高は前年同期に比べ微増にとどまりました。

費用面では、一部の原材料費の値下がりやポイント制度変更に伴う販売促進費が減少した一方で、光熱費の値上りや厳しい採用環境のなか募集費の増加を余儀なくされました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は103億98百万円(前年同期比0.2%増加)、営業損益は1億90百万円の損失(前年同期実績5億6百万円の損失)、経常損益は1億60百万円の損失(同4億75百万円の損失)、四半期純損益は1億55百万円の損失(同3億62百万円の損失)となりました。

(部門別の概況)

部門別売上高

	当第1四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	
	金額(百万円)	前年同期比 増減率(%)
木曾路	8,564	0.7
素材屋	893	8.0
鈴のれん	337	23.4
とりかく	257	1.1
じゃんじゃん亭	225	5.3
その他	120	1,089.8
計	10,398	0.2

木曾路部門

しゃぶしゃぶ・日本料理の「木曾路」部門は、1店舗の改築、1店舗の改装により、当第1四半期会計期間末店舗数は118店舗（改築中1店舗を含む）となりました。

営業面では、春の歓送迎会、GW、母の日や父の日などの季節的イベントと恒例の「しゃぶしゃぶ祭り」を実施するとともに旬のメニューや一品料理の充実にも努め、また、幅広いお客様のニーズに合わせた新メニューを投入しました。しかしながら、既存店の売上高は前事業年度のポイントカード制度変更による反動もあり、前年同期を上回ることはできませんでした。その結果、売上高は85億64百万円（前年同期比0.7%減少）となりました。

素材屋部門

居酒屋の「素材屋」部門は、1店舗の退店により、当第1四半期会計期間末店舗数は24店舗となりました。

営業面では、コアメニューの串焼きの拡販、旬メニューや焼酎のお値打ち販売並びに平日限定フェアの実施により来店客数の増加に努めましたが、既存店の売上高は前年同期を下回りました。また、前年同期末と比べ2店舗の撤退が響き、売上高は8億93百万円（同8.0%減少）となりました。

鈴のれん部門

和食レストランの「鈴のれん」部門は、店舗の異動はなく、当第1四半期会計期間末店舗数は9店舗となりました。

営業面では、メニュー改定や接客サービス、販売促進活動の見直しなどを行うとともに、従業員の技能向上や店舗管理力の向上など体制強化に努めました。当部門は、前年同期末と比べ1店舗増加し、売上高は3億37百万円（同23.4%増加）となりました。

とりかく部門

鶏料理の「とりかく」部門は、店舗の異動はなく、当第1四半期会計期間末店舗数は10店舗となりました。

営業面では、宴会メニューの充実やこだわりの旬の一品提供などを行いましたが、来店客数の回復には至らず、既存店の売上高は前年同期を下回り、その結果、売上高は2億57百万円（同1.1%減少）となりました。

じゃんじゃん亭部門

焼肉の「じゃんじゃん亭」部門は、店舗の異動はなく、当第1四半期会計期間末店舗数は8店舗となりました。

営業面では、学生の歓迎会に合わせ予約獲得活動を強化し、また、お誕生日会員の登録やスタンプカードによる再来店を促し客数の回復に努めた結果、既存店売上高は前年同期を上回りました。しかしながら、前年同期末と比べ1店舗減少しており、売上高は2億25百万円（同5.3%減少）となりました。

その他部門

その他部門は、ワイン食堂「ウノ」、外販（しぐれ煮、胡麻だれ類）、不動産賃貸等であります。このうち、新規開発部門のワイン食堂「ウノ」は1店舗を新規出店し、当第1四半期会計期間末店舗数は3店舗となりました。

その他部門の売上高は1億20百万円（同1,089.8%増加）であります。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

	前事業年度末	当第1四半期 会計期間末	増減
総資産(百万円)	39,467	38,070	1,397
純資産(百万円)	29,702	29,333	368
自己資本比率(%)	75.3	77.1	-
1株当たり純資産(円)	1,149.49	1,135.23	14.26

当第1四半期会計期間末の総資産は、380億70百万円で、前事業年度末比13億97百万円の減少となりました。主な減少は、設備投資、賞与、配当金、法人税等の支払で預金を取り崩したことによるものであります。負債は、87億37百万円で、前事業年度末比10億28百万円の減少となりました。主に法人税などの未払税金や賞与引当金が減少しました。また、純資産は、293億33百万円で、前事業年度末比3億68百万円の減少となりました。これは、主として、四半期純損失1億55百万円、剰余金の配当1億80百万円によるものであります。

以上の結果、当第1四半期会計期間末の自己資本比率は77.1%、1株当たり純資産は1,135円23銭となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年4月26日に公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,066	11,725
売掛金	1,018	847
商品及び製品	24	42
原材料及び貯蔵品	454	630
その他	882	989
貸倒引当金	0	0
流動資産合計	15,445	14,235
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,526	8,374
土地	5,637	5,637
その他(純額)	1,652	1,685
有形固定資産合計	15,816	15,696
無形固定資産	269	260
投資その他の資産		
差入保証金	5,251	5,234
その他	2,711	2,661
貸倒引当金	27	18
投資その他の資産合計	7,936	7,877
固定資産合計	24,022	23,835
資産合計	39,467	38,070

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,268	1,135
短期借入金	950	950
未払法人税等	730	64
賞与引当金	494	234
その他の引当金	65	82
その他	2,774	2,873
流動負債合計	6,283	5,341
固定負債		
退職給付引当金	1,479	1,475
資産除去債務	1,358	1,340
その他	644	579
固定負債合計	3,482	3,396
負債合計	9,765	8,737
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,056	10,056
資本剰余金	9,875	9,875
利益剰余金	9,728	9,392
自己株式	113	114
株主資本合計	29,547	29,210
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	155	123
評価・換算差額等合計	155	123
純資産合計	29,702	29,333
負債純資産合計	39,467	38,070

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	10,374	10,398
売上原価	3,334	3,276
売上総利益	7,039	7,122
販売費及び一般管理費	7,546	7,313
営業損失()	506	190
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	9	10
協賛金収入	13	3
固定資産受贈益	-	8
貸倒引当金戻入額	-	8
その他	4	2
営業外収益合計	34	38
営業外費用		
支払利息	2	2
寄付金	1	-
賃貸借契約解約損	-	6
その他	0	0
営業外費用合計	3	8
経常損失()	475	160
特別損失		
固定資産除却損	61	23
特別損失合計	61	23
税引前四半期純損失()	537	183
法人税、住民税及び事業税	30	29
法人税等調整額	204	57
法人税等合計	174	28
四半期純損失()	362	155

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。